

2019年WEB整備安全アンケート(ANA系) 2019年1~2月実施

実施者 航空連・整備連絡会

2019年1月~2月に行われた同アンケートの報告です。

今回は十分な回収には至っていません。したがって、傾向を正確に把握したものとは言えませんので、あくまで参考としてみて頂ければ幸いです。

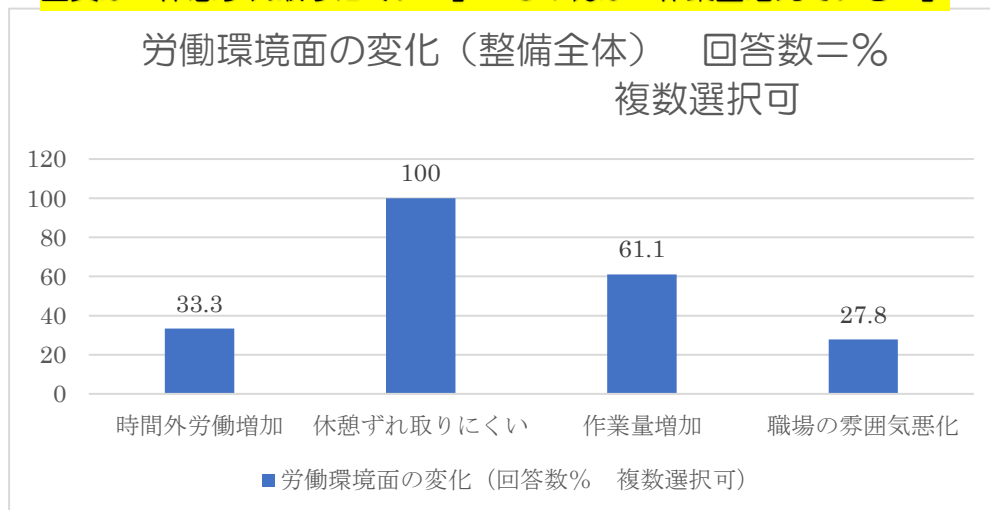


整備各職場の区分けは、ライン2交代・ライン3交代・ドック2交代・ドック3交代・シヨップ整備・間接部門としました。

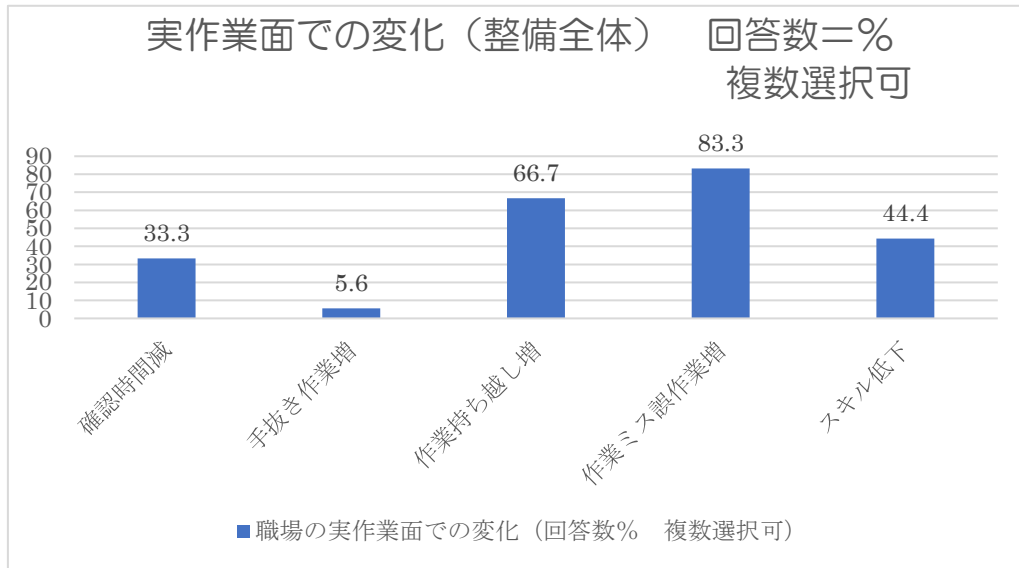
■ 以下は集計結果から、抽出し、特徴的な部分を表・グラフにしました。
冒頭に書いたように、今回は十分な回収には至っていません。したがって、傾向を正確に把握したものとは言えませんので、あくまで参考としてみて頂ければ幸いです。

いずれも「この1年間の変化は？」という設問です。

全員が「休憩ずれ取りにくい」 61%が「作業量増えている」



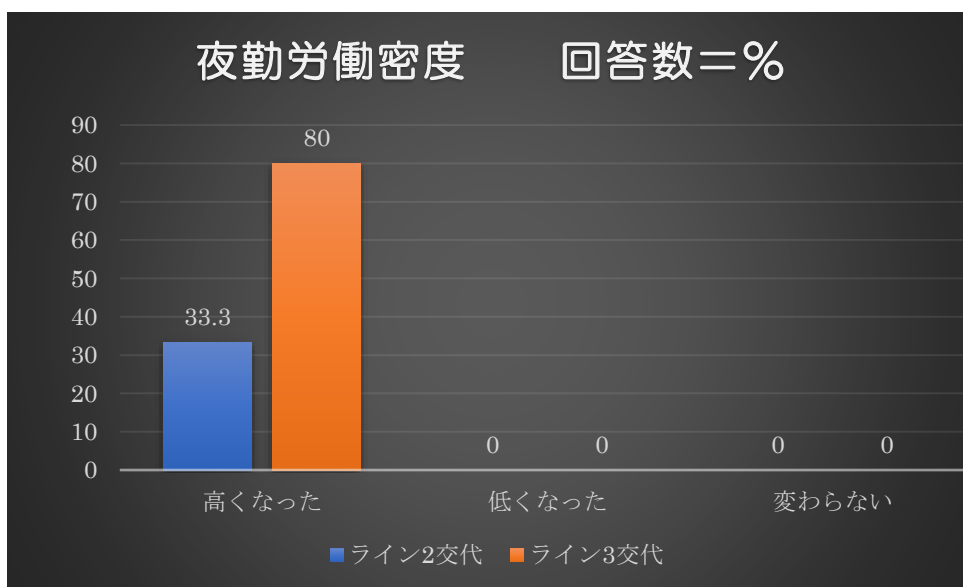
83%が「作業ミス誤作業増えた」66%が作業持ち越し増えた

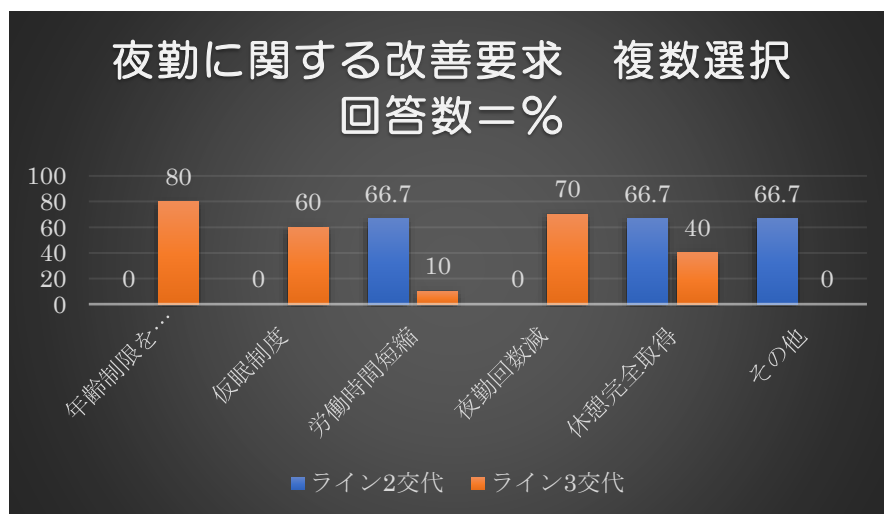
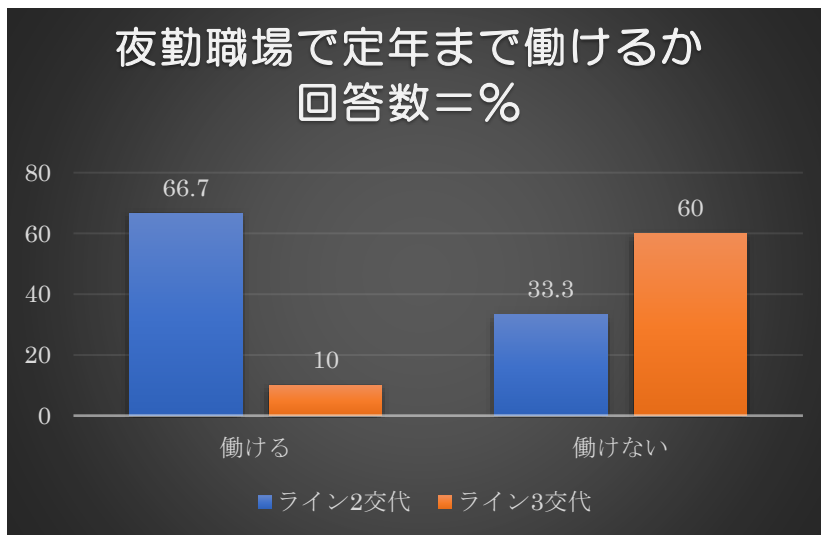
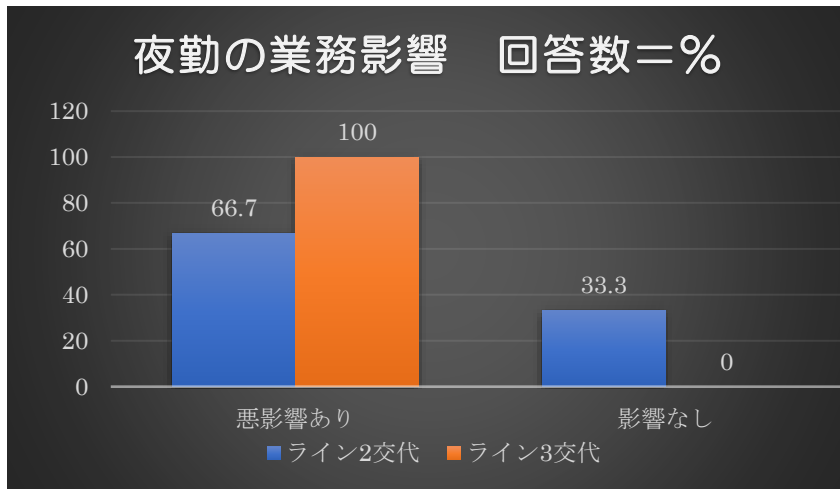


人手不足は明らか

職場の人員は	所属職場		勤務		合計
	ドック	ライン	2交代	3交代	
足りている (%)	0%	15%	0%	20%	14%
足りていない (%)	100%	85%	100%	80%	86%

以下は夜勤に関する結果です。





■ 記述欄の特徴的としては

- 夜勤による疲労・疲労感が全体に表れています。
- 「定年まで働けない」、特にライン3交代は突出していました。
- 「連続夜勤なので体力的にきつい」と同時に高血圧に悩む人が多く、脳疾患の可能性を示唆する記述がありました。
- 「いじめられた」が、少ないながらも現実にあることが分かり、解決が求められます。
- 「孤独を感じる」という回答があり、力を合わせて安全運航を支えるべき職場の労働者の「孤独感」広がり問題です。背景を分析必要があります。
- 若い人は、受験のため、連続夜勤もあり、仕事が終わってからなかなか帰れない様子を示唆する記述がありました。
- 出向者の労働条件の定めがなく、このことについて管理職・組合役員が説明できない事例として、申請した有休の前日が暦日越え勤務の取り扱いが挙げられていました。
- 改善すべき労働組合が役割を果たしていない事を指摘する記述もありました。



以上